

# 広域連携とデータ循環で稼ぐ観光DXプラットフォーム構築

一般社団法人 麒麟のまち観光局  鳥取県東部・兵庫県北西部  観光地域づくり法人(DMO)

事業区分：

 専門人材による伴走支援

課題の背景

CRM導入など点での取り組みは進めていたが、データを繋げ消費を循環させるノウハウが不足しており、自力でのプラン作成に限界を感じていた。

専門人材による  
伴走支援

現状把握と課題の深掘り

全国の観光施策に精通した専門家が第三者視点で介入。多様な関係者への勉強会を通じて、表面的な悩みではなく「問題が起きない仕組みづくり」まで課題を深掘りする知見の提供を受けた。

マーケティングモデルの全体設計

散在するデータを連携させる専門知識を活用し、点在していた取り組みを統合。旅マエから旅ナカへ旅行者を誘導し、データと消費を地域内で循環させるプラットフォームの全体設計について支援を受けた。

システム要件定義と最新技術の提案

(AIコンシェルジュ、プレミアムマイマップ、接客コンシェルジュ、Tripla)

AIによる周遊ルート自動生成やデジタルマップ、CRM、地域OTAなど、データ収集と利便性向上を両立させる最新技術の知見を提供してもらい、具体的なシステム要件定義のサポートを受けた。

持続可能なビジネススキームの検討(Tripla、旅先納税システム)

単なるシステム導入に留まらず、地域OTAの直販手数料や旅先納税の活用など、DMOの安定的な自主財源を確保し自立自走するためのビジネススキーム(稼ぐ仕組み)の議論を支援してもらった。

課題

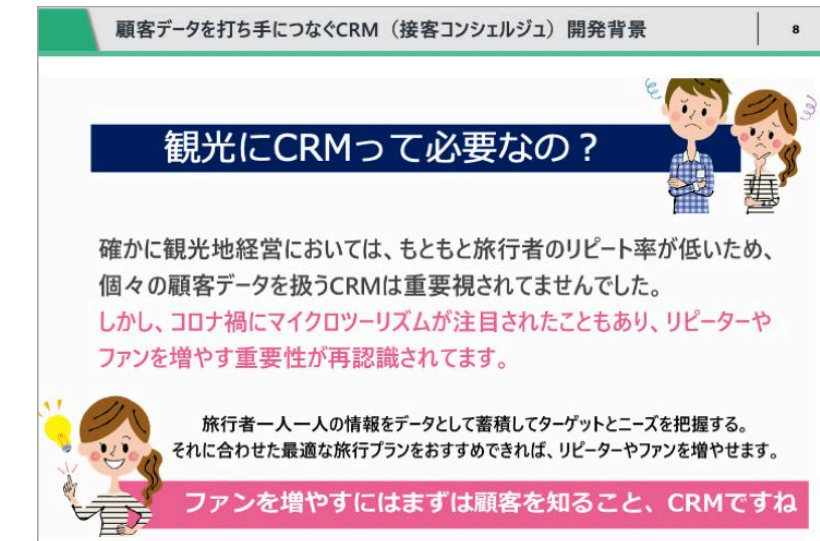
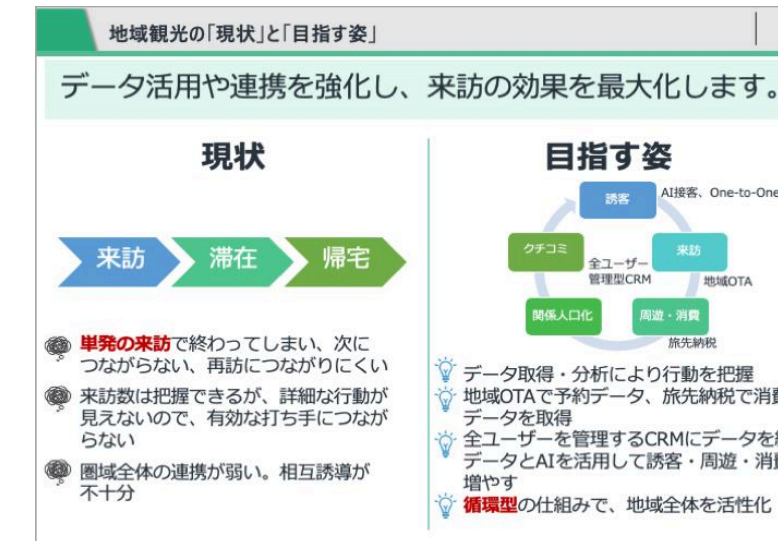
期待する効果

通過型観光となる背景には、周遊を促す仕組みや案内人の不足、データの散在があった。

また外部OTAへの高い手数料負担も課題で、データを一元管理し直販等で消費を循環させるノウハウが自力では不足していた。

散在するデータを一元管理し、個々に最適な情報提供を行うことで、圏域全体の周遊促進と消費拡大が期待される。

また、地域OTAを通じた直販により外部への手数料流出を防ぎ、DMOの持続可能な自主財源の確保も期待される。



 伴走支援による効果

- 専門人材の第三者視点と課題を深掘りする知見により、広域ステークホルダーと「目指す姿」を共有し、通過型観光脱却に向けた合意形成を図ることができた。
- 散在するデータを連携させる知見を活用し、個々に最適な情報を配信して周辺市町への周遊と消費を直接的に促すプラットフォームの全体像が完成した。
- ビジネススキーム構築の知見により、地域OTAの直販収益を確保し、データを域内循環させ、周遊促進と自立自走するDMO体制について本質的な議論が進み始めた。

 事業者の声

点在する施策をどう繋げて消費を作るか、自力での限界を感じていました。ツールを入れるだけでなく、最初に『DMOとして目指す姿』をイメージし、地域で協力して持続可能な循環をどう作るか議論することが重要です。

幅広い観光施策やシステムに精通し、経営的視点を持つ専門家には、事業者の悩みを『問題が起きないよう何をすべきか』という視点まで深掘りしてもらいました。事業者の手を煩わせない仕組みを一緒に考えられたことが、合意形成のポイントになったと思います。

